

進め方とスケジュール

1 検討のステップ

市は、ワークショップでの議論をはじめ地域の皆様の意見で得られた成果をもとに、「地域別実行計画」を策定します。作成は次の4つのステップに分けて、段階的に検討を行います。

ステップ1 ワークショップ等を通じ、「地域別実行計画」をどのような手順で策定するか確認しながら、最終目標の共有化を図った上で、最初に地域課題の抽出を行います。

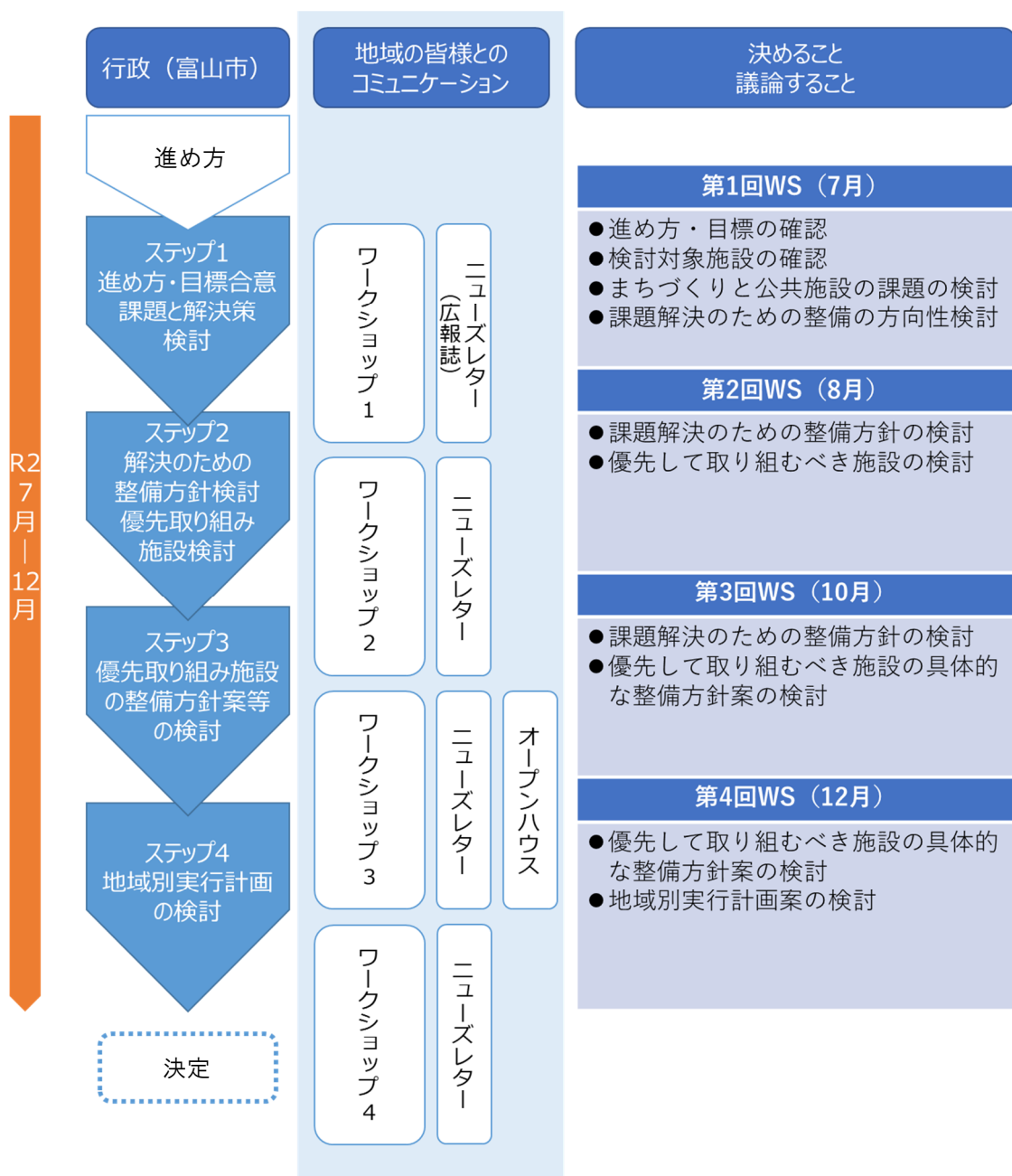
ステップ2 地域の課題解決と特色を活かして公共施設のあり方を議論、共有し、「地域の将来的な公共施設の再編方針」を検討します。また、「優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針」の対象となる施設を選定します。

ステップ3 「地域の将来的な公共施設の再編方針」の案について検討します。また、「優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針」の対象となる施設について、具体的な整備方針を複数案作成し、それらを比較・評価します。

ステップ4 「地域の将来的な公共施設の再編方針」「優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針」の案を検討します。

2 スケジュール

4つのステップごとの検討の内容とスケジュールは以下のとおりです。



「地域別実行計画」の策定に向けた検討では、地域の皆様と様々なコミュニケーションを進めていきます。

- ・ ワークショップ
- ・ オープンハウス（パネル展示型説明会）
- ・ ニュースレター



【オープンハウス（パネル展示型説明会）】

地域住民の皆様が集まる施設などでパネルを利用し、ワークショップで挙げられた意見やそれを反映した地域の将来的な公共施設の再編方針や優先的に取り組む具体的な施設の再配置案のプランなどの内容を広報します。どなたでも立寄ることができ、住民の皆様からワークショップで検討されている内容についてのご意見をいただきます。

【ニュースレター】

地域内の各世帯に配布するチラシです。ワークショップで挙げられた意見やそれを反映した地域の将来的な公共施設の再編方針や優先的に取り組む具体的な施設のプランなどお知らせするとともに、ワークショップで検討されている内容についてのご意見を募集します。

4

ワークショップの概要

- ワークショップは、令和2年12月ごろまでに4回程度開催します。
- 原則として土曜日・日曜日または祝日に開催します。
- 会場は、原則として地域内の山田公民館とします。
- 事務局は、富山市企画管理部行政経営課が担当します。
- ワークショップには、山田地域にお住まいの皆様にご参加いただきます。
- 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ワークショップでは、参加者の皆さんにグループ討議で自由にご議論いただきます。
- 一般の傍聴者や報道関係者が会議を傍聴することができます。

5

ワークショップの進め方

- グループ討議の運営では、円滑な議論のため、司会進行を第三者的立場のファシリテーターがお手伝いします。
- ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、会の最後に各グループの議論の結果を発表し、後日、各回の成果として取りまとめます。
- グループ討議の途中の議論は要点をまとめて記録します。これは個人の発言が特定されるものではありませんので、自由で前向きな議論をお願いします。
- 市に対する要望・陳情の場ではありません。
- ワークショップの様子をホームページ等で公表するなど情報発信を行うことがあります。会場内で録音・撮影する場合があることをご了承ください。

6 ワークショップの成果

- ワークショップの最終回までにまとめ上げた成果は、複数のプランの評価結果を比較表として整理します。
- 比較表の内容は、市が「地域別実行計画」を策定する際の基礎情報として活用します。
- 各回の成果についても記録として残します。

7 ファシリテーターのご紹介

～こんにちは。皆さんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行
やとりまとめをお手伝いします。どうぞよろしくお願いします～

しのだ
篠田 さやか

オフィスキュア

おぐち ゆうこ
小口 優子

有限会社 まち処計画室

み と へ さとる
水戸部 智

特定非営利活動法人 aisa

くわた まさひろ
桑田 正寛

特定非営利活動法人 aisa

ますだ のぞみ
増田 望未

特定非営利活動法人 aisa

- 話し合いに積極的に参加しましょう
- 自分の考えを率直に述べましょう
- 前向きな思考で発言しましょう
- 評論家ではなく当事者として関わりましょう
- 他の参加者の意見に耳を傾けましょう
- 気持ちよく運営できるよう協力しましょう
- 議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

(必要があれば追加しましょう)